

政 務 活 動 費 成 果 報 告 書

令和 8 年 7 月 2 1 日

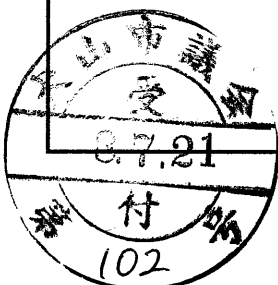
犬 山 市 議 会

議 長 大 沢 秀 教 様

議員名 柴田 浩行

下記のとおり、視察の成果を報告いたします。

(1) 年 月 日	令和 8 年 7 月 1 3 日 (月) ~ 1 4 日 (火) (1 泊 2 日)
(2) 場 所	山口県 ①岩国市 ②岩国市
(3) 形 態	会派 (創犬会) : その他 ()
(4) 内 容	①山口県岩国市 「錦帯橋のう飼事業について」 (市と鵜飼事業の係わり) ・平成25年12月末に鵜飼遊覧船事業者であった「錦帯橋鵜飼株式会社」が解散したため、平成26年度より、鵜飼保存事業は岩国市が実施。 (岩国市が担う鵜飼保存事業) ・鵜舎の管理、鵜の飼育、遊覧船・鵜舟の造船など。 ・鵜飼保存事業の一部を「(一社)岩国市観光協会」へ委託。 (岩国市観光協会が担う事業) ・鵜飼時の遊覧船事業。春や秋の遊覧船運航については観光協会が独自事業として実施。 ・観光協会と鵜匠、鵜舟船頭、船頭は請負契約を結ぶ。 (鵜匠、船頭の確保について) ・知り合いの紹介や求人誌などで求人をしている。 ・鵜匠、船頭は鵜飼開催時期だけの副業。
(5) 成果・提言	錦帯橋のう飼事業においても、本市の木曾川うかい事業と同様に、伝統漁法を保存し継承するとともに、観光事業として収益を得ることは難しい状況である。 岩国市では鵜飼事業は錦帯橋を中心とした面的観光事業の一部として捉えていると考える。 鵜舎を吉香公園内に整備して、飼育施設ではなく、保存・展示・教育機能を併せ持った複合施設としている。 本市においても、鵜舎の整備は喫緊の課題である。鵜舎を複合施設として整備することは検討すべきと提案する。



下記のとおり、視察の成果を報告いたします。

(1) 年 月 日	令和 8 年 7 月 1 3 日 (月) ～ 1 4 日 (火) (1 泊 2 日)
(2) 場 所	山口県 ①岩国市 ②岩国市
(3) 形 態	会派 (創大会) : その他 ()
(4) 内 容	②山口県岩国市 「小瀬地区かわまちづくりについて」 (整備の経緯) ・「小瀬川総合整備推進協議会」にて、広域（岩国市、大竹市、廿日市市、和木町）で河川の環境整備に取り組んでいる。 ・小瀬地区かわまちづくりについては、国から提案が有り、国交省の協力を得て実施する。 (総事業費) ・概ね1億9千万円（国の事業費は1億8千4百万円） (課題) ・小瀬地区は人口減少、高齢化が進んでいる地域のため次世代に活動を引き継げるかが課題。
(5) 成果・提言	国から提案が有り、国交省の協力を得て事業を実施するため、整備には大きな課題は無いと考える。 一方で地域住民の係わりを深めなければ、単なる河川整備で終わってしまうと危惧する。 岩国市では、「小瀬かわまちづくり協議会」を設立して住民参加を促している。 持続可能なまちづくりの主役は、地域住民だと考える。本市では、これまで通り内田地区と栗栖地区のみなさんと協働でかわまちづくりに取り組んで行くべきだと提言する。